

氏名	青 野 要
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 293 号
学位授与の日付	昭和43年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	放射線照射により生体内に発生する複合磷脂質に就いて 第1報 複合磷脂質の健康家兎の組織像に及ぼす影響 第2報 複合磷脂質のエールリッヒ培養細胞 (JTC-11細胞) に及ぼす影響
論文審査委員	教授 山本 道夫    教授 水原 舜爾    教授 妹尾左知丸

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

放射線照射に伴う障害に関する実験は今迄種々行なわれてきたが、種々の議論はあってもX線照射によって組織に致命的な障害を与える Mechanism についての定説は未だ見当らない。然も InVivo にて培養を行なっている細胞の方が生体を構成している組織に較べて、致命的な障害を与える為には大量の放射線量を必要とする事実を考えて見ると、それは生体内の組織を構成している細胞の中に或る種のものは放射線に対して感受性が高いということゝ、放射線照射によって或る種の毒性物質が産出され、それが二次的に非感受性の細胞に対して障害を与えるのではないかと考えられる。

著者はX線大量照射した家兎より抽出した複合磷脂質が、溶血性を有する細胞毒としての作用を有すると言う山本の報告に注目し、これを用いて健康家兎の組織像、血液像を考察し、又エールリッヒ培養細胞に作用せしめてその細胞変性率、増殖抑制効果、形態的变化を観察し、此の上記複合磷脂質が貧血、出血、ロイコモイド反応、或は細胞変性等を来す物質であり、放射線障害と類似した作用を生体に与えるものであるという知見を得た。

(昭和43年4月、岡山医学会雑誌、第80巻、第3.4号に掲載予定)

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、如何なる機転に依り放射線障害が発生するかに就いて行なったものであり、その原因の一端は或る種の溶血性物質に依るものなることを明らかにした。実験より更にきわめて該物質の各臓器血流像に与える変化を追及し造血臓器血液像が放射線障害時の像に類似せることを明らかにし、血液障害の防止の研究に大いに役立つものと考え価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。